

「沖縄はいま歴史的な危機の真ん中にある」—若い時の沖縄で海兵隊員として過ごし、除隊後も日本にとどまり、今もその沖縄の現状を肌で感じながら暮らしているラミスさんの言葉です。

国際政治学者として、またアメリカ人として、ご自身の経験、その後の日本での生活で感じたことや学んだことを踏まえ、いまこそ沖縄の現場から伝えたいことを講演いただきます。

## 演題・講師

# 終戦70年「要石」としての沖縄



## ダグラス・ラミス(Charles Douglas Lummis)

(経歴) 西洋政治思想史研究者

1936年サンフランシスコ生まれ。

カルフォルニア大学パークレー校を卒業。

1960年に海兵隊員として沖縄に駐留。

翌年除隊しその後は京都、東京に在住。

1980年より津田塾大学教授。

2000年に退職。

退職後は沖縄を拠点として執筆や講演活動のほか、  
非常勤講師を務める。

## 日時

平成27年12月6日(日) 13:30~15:00 (開場13:00)

## 会場

本学 新潟中央キャンパス 9階 講堂  
新潟市中央区上大川前通7-1169

## 定員

先着200名(申込み必要)

## 後援

新潟県教育委員会、新潟市教育委員会、(公財)新潟県国際交流協会

## 申し込み方法

■インターネット専用サイト

URL: <http://www.nuis.ac.jp/pub/h27kouenkai.html>

■往復はがき、E-mail(gakumu@nuis.ac.jp)

氏名、年齢、連絡先電話番号を明記ください。

## 申し込み・問い合わせ先

■新潟国際情報大学国際理解講演会係

〒950-2292新潟市西区みずぎ野3-1-1

電話025-239-3111(代)



## 主な著書

『ラディカル・デモクラシー』(岩波書店 1998年)、『普通の国にな리ましょう』(大月書店, 2007年)

『高校生のための英語読本——鏡としての外国語』(筑摩書房, 1994年)『世界がもし100人の村だったら』(マガジンハウス, 監修) など多数。